

令和8年度 オリンピック・パラリンピック教育推進事業
実施報告書



学校名【札幌市立真駒内桜山小学校】 【課題3】

1 目標 (ねらい)	オリンピックの知識や札幌オリンピックと真駒内とのつながりに関する歴史、オリンピック・パラリンピックの競技や種目について学ぶことができる。	
2 実施対象者 (学年・人数)	(3学年・81名)	
3 展開の方式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()	
4 取組内容	○取組の様子 ①児童がこれまでに知っているオリンピックの知識を出し合い、札幌でも開催されたことや地下鉄南北線ができるきっかけになったことなど、真駒内との関わりも知ることで学習意欲が高まった。 ②オリンピック公式HPを活用して夏季・冬季の様々な競技を調べた。興味を持った競技を選択し、競技のルール、歴代オリンピック、やり方などを詳しく調べワークシートにまとめた。 ③調べ学習で児童自らが抱いた問いをもとに、「オリンピックミュージアム」や札幌オリンピックの歴史について事前に副教材等で調べ、現地体験への目的意識と期待感を高めた。 ④オリンピックミュージアムを訪問し、オリンピックによる講話、大倉山スキージャンプ場での見学、様々な体験型アトラクションを通して、事前学習で得た知識と実体験を結びつけることができた。児童にとって非常に密度の濃い貴重な体験となった。単元全体の振り返りを行い、スポーツの面白さや地域の歴史、共生社会についての学びを深めることができた。	
5 主な成果	・事前の調べ学習やオリンピックによる講話を通して、オリンピックが大切にしている精神・ねらいについて知ることができた。 ・札幌オリンピックと真駒内とのつながりについて考えることを通して、歴史を学ぶことができた。 ・事前の調べ学習、当日の競技体験や大倉山の頂上からスキージャンプ場を見渡す経験を通して、オリンピック・パラリンピックの競技や種目について学ぶことができた。	
6 アンケート結果	アンケート項目	学習の実施後 (%)
	① オリンピックやパラリンピックについて興味が高まった。	98.7%
	② 様々な人を理解し、共に生きる大切さを感じた。	96.4%
	③ 自分が住んでいる地域や札幌のよさを感じた。	96.4%

